

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

NEWS

No.136

2022.2



みえ福祉用具アイデアコンクール2021
三重県作業療法士会賞 決定

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

【巻頭言】

第32回三重県作業療法学会のお知らせ

第32回三重県作業療法学会 学会長 石崎 健（鈴鹿厚生病院）

【知人 de リンク】

あんしん訪問看護ステーション 宮下和也

三重つくし診療所リハビリセンター 村田 伶

【施設紹介】

松阪中央総合病院

【第16回みえ福祉用具アイデアコンクール2021表彰式について】

一般社団法人 三重県作業療法学会 副会長 佐藤明俊

【東海北陸リーダー養成研修会の参加報告】

志摩地域医療福祉センター 介護老人保健施設志摩の里 竹内元輝

【運転支援について意見交換会参加報告】

藤田医科大学七栗記念病院 宮坂裕之

【各部署、委員、ブロックの活動報告】

啓発部 高校生への作業療法の紹介 島崎博也

啓発部 高校生に向けての作業療法の紹介動画 中村優里

啓発部 令和3年 一般公開講座 『学校と家庭のチームで叶える届けたい教育』の報告 栗山 翼

広報部 広報部意見交換会に参加して 宮坂裕之

組織部 管理職 OT ネットワークの会に参加して 木山喜史

中勢ブロック 「老年期分野で働くOTの座談会」を開催 中 麻未

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19 TEL.0596-65-6039

株式会社システムネットワーク 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F TEL.06-6364-0529

田中セイ株式会社 〒541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央3-2-8 船場センタービル 8号館 B127号室

TEL.06-4256-3698

フランスベッド株式会社 〒514-2211 三重県津市芸濃町椋本2020

TEL.059-266-0104

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

三重県作業療法士会会員数 673名 施設会員 621名 自宅会員 52名 賛助会社 4社

Topics

第 32 回三重県作業療法学会のお知らせ

学会長 鈴鹿厚生病院 石崎 健



来る3月6日(日)に、三重県作業療法学会が ZOOM によるライブ配信にて開催されます。オンライン学会とはいえ、チャット機能などを活用したライブ感、低コスト化による学会参加費負担の軽減など、IT のメリットを最大限活かします。

今回の学会テーマは『「生きる」から「活きる」へ — “作業への気づき” がもたらすブレイクスルー—』です。皆さんは日々の臨床で「自分は OT として正しい仕事をしているのか?」と自分の専門性に戸惑うことはありませんか? しかし、たとえ様々な困難を抱えても作業によってひとは「活きる」ことを、我々 OT は知っています。本学会では改めて我々 OT の原点である「作業」に立ち返り、それに焦点を当てた本来の作業療法のあり方について、分野を超えて語り合いたいと思っています。作業科学や作業療法理論に造詣が深い県立広島大学の吉川ひろみ教授による基調講演、そして県内注目の作業療法士と OT 学生を交えたシンポジウムを通して、“作業”に焦点を当てた真の OT のあり方を共に考えてみましょう。

また県学会には、地元会員に気軽な研究発表の場を提供する役割があります。今回も OT としての向上心に溢れた方々から演題のエントリーがありました。演題発表では前学会と同様、優れた発表に対し表彰を行います。当日の発表をご覧いただき、ぜひ活発な意見交換をお願いします。

この他に当日は日頃の臨床や研究に有益な情報をご提供するランチョンセミナーも開催します。また学会ホームページでは各施設からお寄せいただいた OT 利用者による作品の展示も行っています。思いのこもった作業の集大成をぜひご覧ください。

本学会が地元 OT の連携を深め、少しでも皆さんの日々の現状を打破 (ブレイクスルー) するきっかけとなれば幸いです。たくさんのご参加をお待ちしています。

参加登録は学会ホームページまで。(～ 2/28 〆切)



利用者さんの作品

知人 de LINK

あんしん訪問看護ステーション 宮下和也

皆さん、こんにちは。富田浜老人保健施設浜っこ老健の佐藤綾香さんからご紹介いただきました、あんしん訪問看護ステーション宮下和也です。佐藤さんとは学生時代のクラスメイトです。課題が山積の時、誰もが敬遠する役回りも嫌な顔ひとつせず引き受けてくれる芯の強さと、柔和な笑顔が印象的な方です。

私は、主に亀山地区にて訪問リハビリテーションを併設した障害者施設に勤めています。高齢化、過疎化が進む地域では移動手段、家族支援が乏しくなっており、利用者さまの生活上の問題に直結することを実感しています。以前も亀山でサラリーマンとして働いていたので愛着のある地域でのリハビリにやりがいを感じています。ようやく業務にも慣れてきましたが、特に医療保険制度、介護保険制度の枠組みの違いなどの確かな介入ができず、自身の勉強不足を感じています。目標として利用者さまのストレンクスを活かした参加を果たせるようにと志しますが、モニタリング会議等でデマンドを考察、介入することが精一杯なのが現状です。

最近ではコロナ禍にて日課であったジム通いも困難となり、以前より興味のあったアウトドアと料理に傾倒しています。

特に料理は、親譲りの食への探究心が高じて、家庭料理ではありますがほぼ毎日手作りするようになりました。

ネットではレシピに事欠くことはないですが、特におすすめするのは料理研究家土井先生のアプリです。食材を入力すれば料理が提案されますし、文化としての和食など哲学的なアプローチも自身の好奇心を掻きたてます。写真はブロccoliポテトサラダです。

今後も勉強とともに趣味の幅を持たせることで経験が増え、知識を利用者さまに還元できるように研鑽していきたいと思えます。

今回は学生時代のクラスメイトの第二岩崎病院で勤務されている村上琴美さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。



三重つくし診療所リハビリセンター 村田 伶

みなさんこんにちは。介護老人保健施設 鈴の丘の本郷菜々穂さんよりご紹介いただきました、三重つくし診療所リハビリセンターの村田伶です。本郷さんとは専門学校時代の同級生であり、在学中は勉学や行事など様々なことを協力しながら乗り越えてきました。現在も気軽に相談をして仲良くさせてもらっています。

私は3年間、病院で勤務し回復期病棟、療養病棟、一般病棟、外来患者様のリハビリを経験しました。その後、地域での作業療法に興味を持ち、現在は当事業所で訪問リハビリを行っています。病院と大きく違いを感じているのは主体が利用者様本人である、ということです。慣れ親しんだ地域で生活を送るということはその方が何よりも輝いて見え、その人らしさを感じられる瞬間だと思います。家事や就労、畑作業、庭仕事など多くの支援に携わらせていただいております。その中でOTとしての専門性を発揮していく難しさを痛感しています。また、在宅での訪問リハビリは疾患や身体機能だけで解決できることばかりではなく、ご家族の力、お友達やご近所の方、インフォーマルサービスといった地域の力が必要不可欠です。疾患や身体機能だけでなく生活やその人らしさに向き合い、利用者様と一緒に自分らしい生活が送れるように支援していきたいと考えています。

プライベートに関しては最近2人暮らしが始まり、家事を行うことが多くなってきました。その中でも特に力を入れて行っていることが料理であり、利用者様とともに育てたジャガイモを使いカルボナーラを作りました。筆舌に尽くしがたい感動的な味がしました。最も盛れている写真を載せさせていただきます。



今回は高校時代からの友人である永井病院の田辺恭平さんをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

施設 紹介

松阪中央総合病院

田代景子



1. 病院紹介

松阪中央総合病院は松阪市にある急性期の総合病院で、松阪インターチェンジより約5分程度の所に位置しています。

当院は救急医療提供体制の充実・強化のため救急センターの拡大や、地域がん診療連携拠点病院として内視鏡センター、検診センターのがん診療機械の充実のため、増改築を行っています。令和3年11月より新棟の運用が開始され、令和4年秋頃には全ての改修が完了する予定となっています。

増改築にあたり令和2年5月にリハビリテーションセンターが4階へ移転し新築されました。

2. 仕事の紹介

リハビリテーション部門は、常勤のリハビリテーション医1名、非常勤のリハビリテーション医1名、理学療法士11名、作業療法士6名、言語聴覚士1名、技術補助員3名が在籍しています。総合リハビリテーション施設の認定を受けており、リハビリテーション医のもと、多職種と連携をとり、包括的なリハビリテーションを実施しています。脳血管疾患、整形疾患をはじめ呼吸器疾患、心疾患、がんなど様々な疾患を対象に自宅復帰や社会復帰、回復期病院へ繋げられるようリハビリテーションを実施しています。

増改築にあたり新築されたリハビリセンターには、専門的なリハビリテーションが効率的に行えるよう新しい機器の導入も行いました。作業療法室には新たに可動式手すりを装備した浴室や電動昇降式キッチンが設置され、より在宅支援に

向けたADL訓練が行えるようになりました。

当センターでは、平成9年より作業療法士が摂食嚥下訓練に関わっています。嚥下検査や訓練、口腔内状況の確認などを行い、医師や看護師、多職種と連携し、食事開始前後の評価・訓練を行っています。また、三重県の高次脳機能障害普及事業支援拠点病院として、頭部外傷や脳血管疾患等による高次脳機能障害者・児者に対する評価や訓練、社会支援を行っています。

チーム医療の一例として、令和元年8月より認知症サポートチームが発足し、作業療法士がチームのメンバーとして、カンファレンスや回診を行い、患者様が安心して生活が送れるように関連職種に対して、対応方法のアドバイスなどを行っています。

3. 今後について

現在コロナ禍の対応として、令和2年5月より病棟担当制が開始されました。病棟担当制ということで、各病棟の対象疾患を中心に介入させていただいています。私は昨年度に内科・神経内科病棟を担当し、今年度からは脳外科病棟を担当しています。脳外科病棟を担当するようになり、自宅退院や回復期病院へ転院する患者様が増えたように感じます。自宅や回復期病院退院後、当院受診の際にリハビリセンターに足を運んでくださる患者様もみえます。患者様やご家族様から感謝の言葉をいただけることも多く、励みになります。つい心身機能の改善ばかりに目を向けがちになってしまう時もありますが、患者様にとって意味のある作業とは何なのか考え、質の高い作業療法を提供できるよう、日々の臨床や自己研鑽を大切にしていきたいと思っています。



可動式手すりを装備した浴室



電動昇降式キッチン

[イベント・研修会参加報告]

「第16回みえ福祉用具アイデアコンクール2021」について

副会長 佐藤明俊

令和3年11月19日(金)三重県身体障害者総合福祉センター(みえテクノエイドセンター)にて、みえ福祉用具フォーラム2021が開催され、その中で、第16回みえ福祉用具アイデアコンクール2021の表彰式が行われました。今回のアイデアコンクールには210作品の応募があり、5名の審査委員から5つの候補作品を選出し、その中から最優秀賞、優秀賞、三重県作業療法士会賞、日本福祉用具供給協会三重県ブロック賞、三重テレビ放送賞、伊勢新聞社賞を決定しました。今年度の三重県作業療法士会賞には、『二刀流杖』を選ばせて頂きました。杖タイプの傘はありますが、本作品は既存の傘の先に杖ゴムを付けることで普段使用しているお気に入りの傘がお気に入りの杖に変身するというアイデアが、生活の質を上げると感じ選ばせて頂きました

三重県作業療法士会賞

二刀流杖(長傘を杖に)

加藤 早苗 様

【使い方】

見た目を気にして、杖を使うことに消極的な方が、ご本人お気に入りの傘を杖として使い、安全に歩いていただけるよう

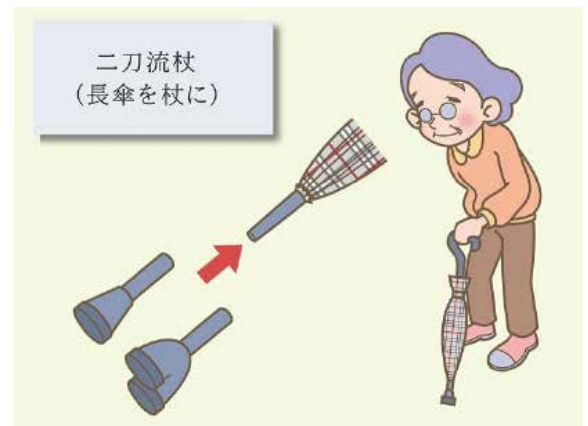
に考案されました。

地面に接する部分の直径を大きくそして柄の部分長くした「杖先ゴム」を傘の「石突き部分」につけるアイデアです。

「人から、若々しいわ、と言われているのに、杖をつく姿を見られたくない」とおっしゃっている95歳の義理のお母さまに、杖を使って安全に歩いて欲しい、との思いから考案されました。

【講評】

傘に杖先ゴムをつけるモノは珍しいという点が評価されました。



[東海北陸リーダー研修会参加報告]

東海北陸リーダー養成研修会に web 参加・2021年11月13日

志摩地域医療福祉センター
介護老人保健施設 志摩の里
作業療法士 竹内元輝

2021年11月13日に東海北陸リーダー養成研修会に参加させていただきました。今年度はコロナ禍ということもあり、WEB研修会となりました。

この研修会では、県士会の役割・重要性の理解を深め、次世代のリーダーを担う人材育成及びリーダーとしての思考力を高めるといった目的があります。

日本作業療法士協会の中村春基協会長から「協会と県士会の役割を踏まえ、中堅リーダーに期待すること」と題して講演をしていただきました。中堅リーダーに求められる視点は、国の動きを俯瞰し、協会・士会の動きを分析しながら行動に移していくことが重要であることを学びました。

中部大学学長補佐、経営情報学部経営学科教授の寺澤

朝子氏からは「県士会ネットワークに秘められた力 ～弱い紐帯の強さとサーバント・リーダーシップ～」と題して講演をしていただきました。サーバント・リーダーシップという言葉をご存じでしょうか？従来の組織イメージは上意下達、指示命令が上から下に降りてくるようなピラミッド型でした。サーバント・リーダーシップでは顧客や利用者として接する一番大切な現場のメンバーをリーダーが支える逆ピラミッド型に変換してきています。実践に向けてはコーチングやファシリテーター、IQよりもEQ(共感力)が大切です。

リーダー養成研修と聞くと、敷居の高い研修であると感じると思いますが、多くのことを学べる研修会であるとともに県士会員としての責任や自覚が生まれると思います。

【 運転支援について意見交換会参加報告 】

運転と作業療法委員会 士会協力者会議に参加して

藤田医科大学七栗記念病院 宮坂裕之

令和4年1月22日(土)に全国の都道府県士会で運転支援に関わる作業療法士の意見交換会がオンラインで行われました。2016年に日本作業療法士協会にて「運転と作業療法特設委員会」が設置され、2年に1回、全国調査と会議が行われています。今回は3回目の全国会議でした。冒頭、委員の方から実態調査の結果が報告され、2019年に比べアンケート調査の回答数が減少しているものの、ドライブシミュレータを保有している施設が増えており、運転支援に関わるOTが増加している可能性があるとの報告がありました。三重県でも、2017年の独自調査では、11施設が支援をしていましたが、2021年の全国調査では4施設に減少しています。実際には支援している施設を把握しているものの、アンケートに反映されていないことがわかりました。

会議では、各ブロック(三重は中部ブロック)に分かれて、各県の取り組みについて意見交換が行われました。各県、

運転支援に関する委員会が2017年以降に設置され、メンバーを中心に教習所や免許センターと積極的に連携している様子が伺えました。徳島や岡山では、指定自動車教習所協会と協定書を締結していたり、富山では、県内で6つの教習所と連携し、脳血管疾患患者の実車評価を受け入れていることが紹介されました。しかし、各県とも、運転支援に関する知識に偏りがあり、施設間での差が大きいことが共通していました。三重県は自動車を中心の生活スタイルであり、運転再開を希望される患者さんが多くいると思います。今後も患者さんの生活を豊かにするための取り組み、支援を行っていきたいと思います。



【 各部局、委員、ブロックの活動報告 1 】

学生に向け作業療法についての紹介・鈴鹿高等学校

一般社団法人三重県作業療法士会 啓発部 島崎博也

啓発部が鈴鹿高等学校より「作業療法についての紹介」の依頼を受けて、令和3年10月14日(木)に「看護・医療系クラス」の26名に対して作業療法についての説明をしました。

内容としてはリハビリテーションについての広い範囲の説明から、作業療法士の職種や役割についてお話しし、OT協会のビデオや、啓発部で作成した現場OTの声なども視聴していただきました。

実施後、半数以上の高校生から作業療法について理解できた、ためになった、将来の進路の参考になったとの回答をいただいております。中には、目指していきたいとの回答も得ることができ、非常にやりがい

感じるとともに、高校生に直接作業療法士の魅力を伝達できたのではないかと感じています。

このような取り組みにより、高校生の方に作業療法を知っていただく機会を生かして、少しでも作業療法士を目指していただけるきっかけを作ることができればと考えます。



教室でのお話の様子

【各部局、委員、ブロックの活動報告 2】

【動画を見て作業療法を知ろう】の動画をYouTubeで公開

鈴鹿中央総合病院（啓発部） 中村優里

啓発部が主宰して、「動画を見て作業療法を知ろう」（Youtube 限定公開）を令和3年7月1日（木）から開始しています。動画は、①作業療法についての説明、②作業療法士へのインタビュー（4領域「身体障害領域、精神障害領域、発達障害領域、老年期障害領域」5名の作業療法士へのインタビュー）、③三重県養成校の紹介の3部構成で40分弱の動画になっています。

私は②のインタビューに関わらせていただきました。始めは緊張し、拙い返答になってしまいましたが徐々に緊張がほぐれていき楽しく答えることが出来たと思います。日々、目まぐるしく過ぎていく中で、このような機会を得て、改めて作業療法の楽しさや大変さを再確認できたと感じました。また、自分が作業療法士を目指したきっかけや初心を思い出すことができ、より一層知識や技術を高めたいと思いました。

今回の動画は、各高校進路指導課の担当者様と、各養成校でのオープンキャンパスにてチラシを配布した結果、高校生11名に視聴していただく事ができ、動画を視聴して良かつ

たとの意見もいただいております。作業療法士は身体、精神、発達、老年と様々な領域で活躍できる職業です。今後も動画を視聴いただき、それぞれの領域の特徴や面白さを感じていただければ嬉しく思います。

昨年同様本年度も、毎年実施している「高校生作業療法体験・見学会」が新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止となりました。今回、ビデオを通して「作業療法」について知っていただく機会を作ることができ、新たな取り組みの可能性を模索することができました。このような取り組みにより、より多くの高校生の方に作業療法を知っていただき、1名でも多く作業療法士を目指していただけるきっかけになればと思います。



制作された動画の一部

令和3年一般公開講座『学校と家庭のチームで叶える届けたい教育』

啓発部 一般公開講座班 栗山 翼

令和3年10月23日に開催した啓発部主催の一般公開講座におきまして、多数のご参加をいただき誠にありがとうございました。

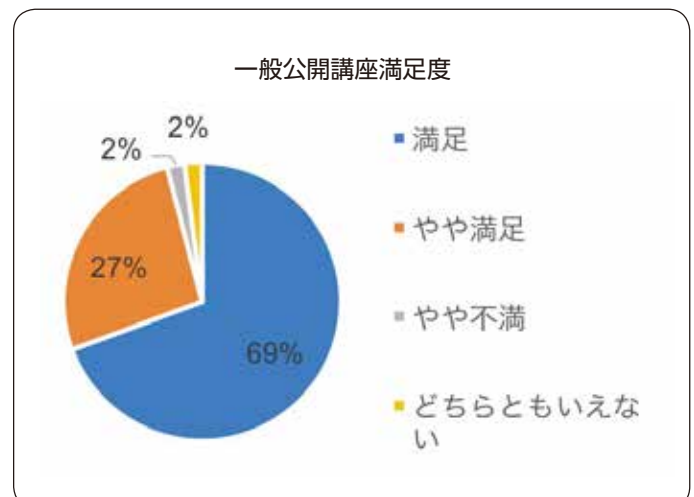
今年度ははじめてのオンラインでの開催ということで運営側として戸惑うこともありましたが、多くの方々のご協力を頂き開催することが出来ました。

講師は、作業療法士で「こども支援相談センターゆいまわる」を開設した仲間知穂先生にお越しいただきました。

参加者は69名で学校教諭や保育士の方々を中心に多数のご参加をいただきました。オンラインでの開催であったことから一部の地域のみではなく、三重県全域・一部県外の方々にも参加して頂くことができオンラインのメリットを生かすことが出来ました。いろいろな分野の方々にご参加を頂けたことを嬉しく思います。こどもに関わる方々のチームで取り組みや、作業療法士が得意とする評価や目標設定などを中心に学校での作業療法を多くの方々に知って頂くことができたと思います。

アンケート結果では参加された方々より『家庭や職場などの子供との関わり方に役立てることが出来る』、『明日からでも生かせそう』と多くの回答を頂くことが出来ました。

今回講師を引き受けて頂きました仲間知穂先生に感謝申し上げます。



〔各部署、委員、ブロックの活動報告 3〕

47 都道府県作業療法士会広報部意見交換会に参加して

広報部 宮坂裕之

令和3年11月18日(木)に47都道府県作業療法士会の広報部意見交換会に参加しました。当日は、三重県の他、青森県、石川県、岩手県、岐阜県、高知県の代表者がオンラインで繋がり、各県の状況について意見交換をしました。今回のテーマが「中高生への啓発活動」であったため、島崎理事にも参加していただきました。各県ともコロナ禍前は、中学、高校に啓発用の資料を配布したり、市町のイベントに参加して啓発を行っていましたが、コロナ禍以降は、イベントも中止になり啓発活動が行えていませんでした。三重県では、リハレンジャーの活動、高校生見学会の活動報告とともに、今年度

実施した、オンラインでの作業療法説明会や動画も用いた作業療法啓発活動を紹介しました。他県に比べ三重県は活動ができていて実感しました。最近では、SNSを利用した活動や県の補助金等を利用した啓発活動が行われていることがわかりました。

日本作業療法士協会では、子供向けに作業療法を紹介するWebコンテンツ「作業療法って何?オーティクんと学ぶ作業療法見学ツアー」をオープンしました。

QRコードを読み込んでいただければコンテンツが見られます。ぜひ、ご覧ください。



組織部 管理職 OT ネットワークの会に参加して

みたき総合病院 木山喜史

令和3年12月7日に開催された管理職 OT ネットワークの会に参加しました。開催はZoomによるWeb会議で行われ、田中会長を始め県内の施設で管理職をされている先生方と日々の管理業務での課題や組織のマネジメントについてディスカッションをしました。

管理職 OT ネットワークの会は、同じ立場で仕事をされている方々が集まり、それぞれが抱えている悩みを共有し情報交換すること、横のつながりを構築すること、次の世代につなげていく土台となることを目的としています。私からは職場で抱えている課題である単位実績など収益管理や教育方法、リ-

ダーシップの在り方についてご相談をさせていただきました。参加された先生方からはそれぞれの施設での管理方法についてご紹介いただき、改善すべき点などにおいても具体的なアドバイスをいただくことができました。

日々の管理業務で課題に直面すると他施設での管理方法や同じ立場の方の考えを聞いてみたいと思うことがあります。管理職 OT ネットワークの会はそのような悩みを気軽に相談できること、他施設の取り組みを参考にできること、そして管理職をされている先生方とつながりを持つことができる貴重な機会であると感じました。管理職として成長できるようこれからも会に参加をさせていただきたいと思えます。

老年期分野で働く OT の座談会を開催しました【中勢ブロック】

伊賀さくら苑 中 麻未

中勢ブロック今年度第2回勉強会として、令和3年11月5日(金)に「老年期で働く作業療法士集まれ!他施設と交流することで日々の臨床を活性化させよう!」と題し、伊賀名張地区代表としてハーモニーハウス伊賀大山田の米澤先生と共に ZOOM での座談会を企画致しました。

事前アンケートにて日時や形式、話し合いたい内容を聴取させていただくことで、参加率の向上や当日の限られた時間の中で効率よくお話ができるよう工夫しましたが、なかなか思ったようには参加者が集まらず、個別に声をかけさせていただいたりしながら、当日は10名の方にご参加いただきました。

私自身、職場では他に作業療法士がおらず、自分の臨床に自信がなかったり、他の施設はどんな取り組みをされている

のか気になっていたもので、こうして顔を見ながらお話できたことは嬉しかったですし、今の臨床を変えてみたいと思いました。参加者の感想を見ても同じように感じて下さった方や、「普段の悩みに少し希望が持てた」「仕事に手いっぱい視野も狭くなっていたが、みんなの話を伺うことで少し気分転換というか、一旦冷静になれた」等、少しでも明日からの臨床が前向きになるようなお言葉をいただけて良かったです。

今回、地区担当となったことで勉強会への参加や企画をさせてもらうに至ったわけですが、結果的に今までとは違う、作業療法に向き合う日々を過ごさせていただいています。

また、第3回の勉強会もありますので、多くの方と出会うことを期待しています。

[県士会からのお知らせ]

令和4年度 一般社団法人三重県作業療法士会社員総会のお知らせ
 日時：令和4年6月12日10時開催予定
 開催方法：WEB 開催

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。
<http://mieot.com/info-cat/study/>

[求人情報のご紹介]

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。作業療法士会ホームページをご覧ください。
<http://mieot.com/info-cat/job/>

[賛助会員のご紹介]

日本モッキ

〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19 Tel.0596-65-6039
https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

株式会社システムネットワーク ヘルスケア事業部

〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F Tel.06-6364-0529
<http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中センイ株式会社

〒541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央3-2-8 船場センタービル 8号館 B127号室
 Tel. 06-4256-3698 <http://www.tanakaseni.co.jp/index.html>

フランスベッド株式会社三重営業所

〒514-2211 三重県津市芸濃町椋本2020 Tel.059-266-0104
<https://www.francebed.co.jp>

[編集後記]

寒い日が続いていますね。編集後記の原稿の執筆時は年の瀬で、仕事もプライベートも忙殺される毎日です。やはり、区切りとして年内に様々なことを済ませておきたいと考えるからでしょうね。

さて、令和4年11月には東海北陸作業療法学会が三重県で開催されます。これに関わる作業は年末からスピードアップし、運営メンバーの目の色が変わってきました。1月中には、学会のホームページも開設されます。会員の皆様には改めて情報をお伝えしますので楽しみにお待ちください。

広報誌にも掲載しましたが、日本作業療法士協会のWebコンテンツがオープンしました。「オーティくん」という名前を覚えて、知り合いの方にも紹介していただけると嬉しいです！

(編集：宮坂裕之、 部局員：伊藤篤史、渡邊 誠、岡田拓朗、萩野 創)

発行所

〒514-1296
 三重県津市大鳥町424-1
 藤田医科大学七栗記念病院内
 一般社団法人三重県作業療法士会 広報部
 発行責任者：田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1
 小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内
 一般社団法人三重県作業療法士会 事務局
 TEL：059-328-1260
 FAX：059-337-9511
 e-mail：mieotjim@yahoo.co.jp